

平成27年度 第18回 直江津区地域協議会

次 第

日時：平成28年3月31日（木）午後5時～

会場：レインボーセンター 第三会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 題

【自主的審議事項】

直江津まちづくり構想について

4 その他

- ・「直江津のまちづくりを話し合う女性の会」の開催結果について
- ・次回協議会について

4月13日（水）午後5時～ レインボーセンター 第三会議室

5 閉 会

上越市第五次観光振興計画（案）が示され、直江津の観光振興を図るべく、当該計画を後押しするため、意見書提出の方向性も含め、協議するための素案です。
3月16日協議いたしますので、目を通しておいください。

直江津区の観光振興について （素案） 協議資料

直江津区は歴史のまちであり日本の歴史の早い頃から国府が置かれ、頸城野の中心地として栄えてきたところです。平成30年には新水族博物館が開館する予定となっております。これを好機として直江津のまちの発展と観光振興について、協議した結果、上越市第5次観光振興計画（案）を補強する意見として、下記のとおり提出いたします。

記

【考え方】

新水族館を観光一つの核として、歴史と文化を活かした住みやすく活気のあるまちとすることが必要です。

【方向性】

- ・ 市民による直江津まち歩きツアー、四十物祭り、鉄道まつり、祇園祭等が実施されますので、これらの市民の活動やイベントと連携して、賑わい出しを図っていく必要があります。
- ・ 市民の新しい発想や創意を活かす仕組みづくり、市民参加の仕組みづくりが必要です。
- ・ 直江津の歴史と文化、生業を活かしたまちづくりが必要です。
- ・ 交通の結節点である特色を活かしたまちづくりが必要です。
- ・ 新水族館を核としたまちづくりが必要です。

【具体的な取り組みについて】

- ・ 市民及び市民活動団体と協働する。
 - ① 市民及び市民活動団体に観光振興計画を説明して定期的に意見交換を行う。
 - ② 市民活動団体の観光を振興する活動に対して支援する。
 - ③ 直江津区観光振興市民会議を設置して住民の皆さんから観光について考えてもらい必要に応じて行動してもらおう。（観光振興ファンクラブ的性格として賛同する人は全員会員になってもらい、観光振興の企画と実行の担い手になってもらう。運営は民で行う。）
- ・ 直江津の魅力を発信する。
 - ① 情報通信（ホームページ、SNS、メールマガジン等）を活用した情報を発信する。
 - ② お客様の志向に合わせた多様なマップ、パンフレットを作成する。
 - ③ 情報発信基地を設置する。（水族館の中に総合情報発信基地を設置する。）
 - ④ 主要施設や街角にマップやパンフレットを配備する。
 - ⑤ 食事処や商店を案内するマップをつくる。

・案内看板等を整備する。

- ① 案内標識を魚のイラストを入れたり、目的地までの距離と時間を入れたり、ようこそその言葉を入れたりして見て楽しい案内標識をつくる。
- ② 主要な歴史資産や文化資産には説明の案内板を付ける。
- ③ トイレや駐車場の案内をきめ細かく行う。

・おもてなし施設等を整備する。

- ① 主要な歴史資産や建物にシャワートイレを設置する。
- ② 直江津駅舎の中に観光案内所とお休み処を設置する。
- ③ 街中の各所にお休み処を設置して、イスとテーブル、目印ののぼり旗、観光案内パンフレット、市内の観光写真等を配備する。(先ずは公共施設に設置し、順次協力していただける商店や民家、空き家の活用に拡大していく。)
- ④ 空き家を活用して街中に観光情報お休み処を設けて観光案内と情報発信、誰でもが自由に休めるお休み処、コミュニティカフェ、クラフトショップコーナー等、を運営する。運営は観光振興市民会議で行う。
- ⑤ 主要な観光施設に駐車場を整備する。

・強調して発信する歴史資産、文化資産等（順不同）

- ① 五智の歴史（国分寺を含む。）
- ② 三八の朝市
- ③ 八幡宮公園（ほたる）と朝市
- ④ 福島城（資料館の整備）
- ⑤ 祇園祭（屋台会館の活用）
- ⑥ 安寿と厨子王
- ⑦ 旧直江津銀行
- ⑧ 屋台会館（祇園祭のPR）
- ⑨ 鉄道のまち（蒸気機関車の展示）
- ⑩ 平和公園
- ⑪ 大日如来像
- ⑫ 句碑
- ⑬ 五智里山公園（自然の宝庫）

・港を活用する

- ① 観光客船を誘致する。
- ② 漁船の乗船体験事業を行う。
- ③ 火力発電所の見学会を行う。
- ④ 佐渡市と連携して佐渡の世界遺産登録を前提とした観光情報を発信する。
- ⑤ 佐渡のアンテナショップを設置する。
- ⑥ 港の釣り場を発信する。

・新水族館を活用する。

- ① 水族館の中に観光情報発信基地を設置し上越市全域や周辺市の観光案内を行うとともに、観光情報を総合的に発信する。
- ② 水族館と商店街の割引券を相互に発券する。
- ③ 水族館からの日本海の眺めを売りにする。
- ④ 海鮮レストランを設置して夜間まで営業する。

・周辺の環境を整備する。

- ① 渋滞にならないように車線や道路幅、信号、横断歩道等を整備する。
- ② 渋滞にならないようにアクセス道路を整備し迂回対策を考える。
- ③ 水族館の駐車場を十分確保するとともに、駅からのシャトルバスを導入する。
- ④ 繁忙期には臨時駐車場を整備するなどしてシャトルバスを導入する。
- ⑤ 上越市の総合観光物産センターを整備する。
- ⑥ 水族館周辺の空き地や海岸道路の草刈とゴミ拾いを徹底する。
- ⑦ 直江津駅前に大規模駐車場を設置する。

・その他の施策

- ① 空き家を活用するための支援制度を設けて商店等の出店を誘導する。
(空き家のデータベース化)
- ② 雁木を整備して町並みの景観をつくる。
- ③ 観光客、住民の皆さんの足としてタウンカーを運行する。
- ④ レンタサイクルの導入（管理運営は観光振興市民会議で行う。）
- ⑤ 民間の建物の外観整備事業を行う。

直江津区地域協議会主催「直江津のまちづくりを話し合う女性の会」
開催結果について（要旨）

1 開催目的

「直江津のまちづくり」を女性の目線から考えるため、女性対象の話し合う会を開催し、日頃の思いや課題等について、地域協議会委員と意見交換を行う。

意見交換の内容は、自主的審議事項（直江津まちづくり構想）の参考とし検討していく。

2 開催日時及び開催場所

平成 28 年 3 月 5 日（土）14 時から 15 時 35 分 レインボーセンター（多目的ホール）

3 参加者

20 人（一般参加者 13 人、地域協議会委員 7 人）

4 開催内容

(1) 次第のとおり

添付資料：名簿・座席表、自主的審議の意見書の写し（話題の参考）

(2) 開催内容

① 会の内容

2 グループに分かれて意見交換を行い、出された意見をテーマごとに整理し、最後に各グループでの内容を発表し合った。

② グループごとに出された主な意見内容

Aグループ

- ・人口流出を防ぐ方法を考え、I ターン・U ターン者が増えるよう地域コミュニティがある安心の街にしたい。
- ・子育てに協力でき、若い人が住みやすい街（託児所など）にしたい。
- ・高齢者が住みやすく車を使用しない街、街中を巡回バス（ワゴン車）があるとよい。
- ・空き家を利活用するなど、地域で商店を育てる。

Bグループ

- ・歩きやすい街（雁木の整備、歩道の整備、海案内看板に距離表示を）
- ・若い人を呼ぶために、空き家対策として住宅整備を行う。
- ・直江津は新鮮で美味しいものがあり、食事ができる店の案内があるとよい。
- ・一人暮らしや認知症の高齢者などを見守る体制づくりが必要である。
- ・まちづくりに対して女性の意識が乏しい。アンケートをとるのも大事である。

5 今後の取り組み方

今回の開催内容の成果や課題を整理し、次回の意見交換に活かす。

出された意見は、地域協議会の自主的審議の参考にし、検討していく。

「直江津のまちづくりを話し合う女性の会」の次第（案）

日時：平成 28 年 3 月 5 日（土）14 時～15 時 30 分

会場：レインボーセンター多目的ホール

（流れ）

- | | | |
|---|--|-------|
| 1 | 開 会 | …2 分 |
| 2 | 会長挨拶 | …3 分 |
| 3 | 内 容 | |
| | (1) 意見交換の進め方の説明 | …5 分 |
| | (2) 意見交換開始 | |
| | ①グループ内での自己紹介（及び進行役・書記の確認） | …10 分 |
| | 地域協議会委員から予め進行役と記録役を選ぶ。 | |
| | ②グループ内での意見交換 | …45 分 |
| | ・進行役が話題提供しながらグループ内で意見交換する。 | |
| | ・意見交換で出された内容をメモ（ポストイット）に書き出し、
大洋紙に貼る。 | |
| | ③各グループの意見発表 | |
| | ・グループごとに意見発表し、内容を共有する。 | …20 分 |
| | (3) 意見交換終了 | |
| 4 | 副会長挨拶 | …3 分 |
| 5 | 閉 会 | …2 分 |

A班の意見

こんなふうな直江津を！

定住化について	街の活性化	利便性、高齢者支援	高齢者支援	子育て支援
若い人が来るような街	空き家の利用で不測の商いが有ると良い街	車を使わないで暮らせる街	高齢者が住み良い街	子育てに協力できる街(託児所等)
転入者を歓迎、住んでもらう	テナント料を市が補填	街の車の置場で買い物ができる	高齢者には必要な情報を見やすい内容で	子育て施設(文化センター等)で若い人の棲みやすい街
人口流出を防ぐ	生鮮の間に合う街	バスとタクシーの間くらいの車！(ワゴン車くらい?)が走っていたら良い	こういう場(話をする、話を聞く)がもっと必要(話が反映されることが前提)	
Iターン、Uターン者、コミュニティがある安心の街	地域でお店を育てる		引きこもりな高齢者が出やすい仕組みを作る	
	生活に必要な情報			

B班の意見

安全安心なまちづくり	街のPR、活性化について	祇園祭が好きな人もいて住みたい人もいる	借りて住んでいる人が結構いる
認知症？を保護する支援対策を(安心して暮らせる社会を)	国府(五智)方面の観光案内そこへ行ける交通手段がない	直江津祇園祭をもっと発信する	学びの交流館で子どものカルチャー教室があってもいいのでは？
一人暮らしの身の回りをしたらどうか	五智交通公園の整備を(休息場所がない、活動できる場所施設)	花火とむかえ屋台が同時に行われるのは直江津だけ！	その他
認知症サポーターのバッチ	春日山、御館、福島城など観光ルートを作してほしい	直江津は祇園祭か活発化と思いますが、地域の活動であって、これ以上の発展はあまり期待できないように思える	女性の会について(評価)
駅(北口)通学路、横断歩道に防犯カメラを設置	春日山へのバス経路について	青年会に入りたくない人が増えた	水族館に大人が良くきっかけは？(カップル優待がある)
防犯上安心なトイレ 出入りが見えやすいこと	直江津では、新水族館が唯一期待されているはずですが、一度見に来たら次はないということのないように、何度でも来れるように入場料金が重要	住民意識の醸成が必要	水族館は八景島さんの管理になって評価も出来る(良くなった)
中等高校前の横断歩道は必要(安全の為)	水族館、旧直江津銀行、三八朝市など、周遊できるパスポートを作る	歩きやすい街(案内)	ふるさと納税のお礼の品物に上越特産品などを入れる(発酵のまち上越などの上越ブランドを)
街の整備	水族館と五智公園。子ども遊びルート	マップが活かされている	アンケートを実施してニーズをつかむ
歩道の整備 デコボコで歩くのも、バギーも大変	五智の蓮池の活用(桜のPR)	直江津駅から降りて海まで歩ける案内板がほしい	
空プランターに花がほしい	互の市広場の空地をもっと活用できないでしょうか。ゼロと5の日だけではもったいない	食事処案内がない。せっかく新鮮でおいしいものがたくさんあるのに	
直江津駅から水族館まで歩きでは、だいぶ遠く、子どもはとでも大変で、途中で休む所、バスを見る所などがあると良い	鉄道まつりでミニSLを復活してほしい(北口の互の市広場にて)	駅に観光案内所が分かりづらい	
佐渡汽船から荒川町に橋が必要	三八市、観光的にも活用	案内看板に距離表示が必要	
駅前に駐車場の設置を(JT跡地)	三八市をもっと賑やかに 出店者が減少している。100年続いた朝市を絶やさない	飲食店の案内が欲しい	
レインボーの駐車場が不足 対応が不親切		空き家対策	
雁木修繕の助成を		空き家対策を充実する	
歩道橋も必要	新幹線が直江津へ寄らなくて残念だ	若者を呼ぶための住宅整備を	
信号調整と渋滞対策	外の人の目線で町を眺めてみる	空き家対策に加え、現在、商いしている人のための補助もほしいです	
五智に駅を	町内会行事に参加してもらおう工夫が必要	若者向けの店がない(ファッション、ファーストフード、書店)	